

平成 30 年度 第 7 回 伊勢市障害者施策推進協議会自立支援部会 議事録（要旨）

開催日時 平成 30 年 12 月 4 日（火）午後 1 時～3 時
開催場所 御薊総合支所 会議室 2-4
出席委員 市川知律部会長、嶋垣智之委員、浦田宗昭委員、森見典子委員、川口幸生委員、
奥村比呂美委員、直江敦代委員、大田桃子委員、中林英樹委員、田川奈央子委員
欠席委員 岡田まり委員
事務局 障がい福祉課長、障がい福祉係長、主査
(庶務担当) 伊勢市障害者総合相談支援センター基幹型職員 2 名
傍聴者 1 名

1 あいさつ

(障がい福祉課長)

自立支援部会では、昨年度から本年 8 月にかけてチームで取り組んでいただいた提案をいただいた。市の来年度予算編成をしていく中で、障がい福祉施設の再編ということで、重度身体障害者デイサービス事業を充実しショートステイを作っていくということ、児童の施設であるおおぞら児童園を充実させるということで議会のほうにも方向性を示させてもらったところ。

今後の充実について皆様方からのご協力もよろしくお願いします。

2 プロジェクトチームチームの取り組みについて

●それぞれのチームの担当委員からの報告

【地域生活支援拠点チームについて】

(委員)11/13 に部会委員 3 名と事務局で打合せを持たせてもらった。まず、メンバーの確認。前メンバーのうち榎本委員、岡田委員は人材チームに入るので、再検討し、短期入所担当には潮音のサビ管の谷さん、訪問看護は医師会大松さんが入っていただけることになった。入所施設は調整中。他のメンバーは継続していただける。

今後の検討項目については、今までのチームで十分に詰められなかった事等の検討が出来ればと考えている。新メンバーも入るので、今までの経過も共有することから始めたい。頻度は多くて 2 か月に 1 回程度。年度内は 1 月、3 月くらいで、メンバーと相談しながら進めたい。

市の進捗状況とリンクしながら進めていく事になるだろう。

(部会長)障害福祉計画でもあと 2 か年で整備することになっている大切な事業である。協力をよろしくお願ひしたい。

【人材確保・養成チームについて】

(委員)人材チームは日程調整が付かず、集まってはいない。これから調整したい。

【就労支援チームについて】

(委員)担当委員 2 名と事務局とで打ち合わせを持った。

これまでの協議会での取り組み、B 型利用にかかる就労アセスメント、就労体験サポート制

度、これまでにしている課題等について共有をすることから始めた。まずは課題整理が大事だが、幅広い課題があり、時間をかけて課題の絞込みが必要。就労支援は学校、福祉、企業など幅広いが、それぞれの分野ごとに課題が共有されていない。教育と福祉との間だけでもとらえ方がちがう。情報共有するだけでも課題解決が図れる部分もあるのではないかと。企業との連携の必要性も強く感じる。就労の定着ということも大事。外国人材入ってくる。障害者就労が難しくなるのではないかと。障害者雇用水増し問題で、企業から厳しいことを言われることも多い。

次回チームの打ち合わせは、12月20日予定。

(委員) 学校での課題はあるが、卒業後の連携等の課題を学校での課題とつなげて、スムーズに移行できる手立てを検討していきたい。

(部会長) 就労については、以前に他市の協議会で学校の考える就労、企業の考える就労、福祉の考える就労が違うということがわかり、一致させるのに時間がかかるということがあった。障害者就労・生活支援センター、学校進路指導、その他関係部署がそれぞれバラバラに企業開拓すると、企業からは誰が来たのか分からない。全体で統一して訪問できるようにしてほしいという意見もあった。企業側の課題の意見も聞けるように出来ると良い。

3 報告会及び事業所連携会議について

●事務局より、資料を基に説明。

【各委員主な意見】

(部会長) 昨年の報告会の目的より進化はしているか。そういう視点も必要。

(委員) 見えない地域課題を見える化とあるが、今回は連携や、地域課題を共有すること、地域のネットワーク化を図る意味が強いのではないかと。昨年は課題を見える化したので、次の段階で良いのではないかと。

(部会長) 部会長に修正の文言一任でよろしいか。

(委員) 了解する。

(部会長) 実施主体は、自立支援部会ということでよろしいか。

(事務局) 昨年も部会主催で実施した。組織図では報告会（交流会）として位置付けられている。

(委員) 前回と同様で良い。

(部会長) 日程については、2月8日金曜日午後1時30分からでよろしいか。

(事務局) 次回部会は2月5日に行うので、その際、連携会議についての最終確認ができる見込み。

(委員) 日程について、これで決定する。

(部会長) 内容及びスケジュールについて。

『自立支援部会の報告』について。まず、内容は、部会の組織体制についてとチームの立ち上げについては、最近までの動きを。地域生活支援拠点についての取り組みは8月の施策本会に報告した内容が中心になると思う。ここの部分は、部会長が担当ということでもよろしいか。

(部会長) グループワークについては80分の時間をとってある。この部分の進め方を丁寧に検討しておきたい。グループワークは運営委員を中心としつつ、部会委員にも運営の手伝いをお願いすることになる。チームメンバーからも参画をしていただけると良い。

(事務局) グループワークの分け方の案について説明。

(委員)配置スタッフをどこまで具体的に組むか。新委員もいるので、いきなりファシリテーター担当は困難。

(委員) グループワーク担当は運営会議メンバー5人プラス運営委員、または前回からの流れを把握している部会委員プラスその他の部会委員という組み合わせではどうか。運営会議で詳細は揉んでもらう

(委員)各委員の特性も踏まえて、考えてもらう。

(事務局)本日のご意見を元に運営会議で検討し、結果をメール等で部会委員に報告し、ご意見を聞く形で打ち合わせを進めさせてもらうということではいかがでしょうか。

(委員)事務局一任で良い。

(部会長)意見交換の内容については、就労系は就労についての課題もあるが、児童系では課題が共通してない可能性がある。今後の連携会議のあり方もどう話すのがよいのか。委員さん方の意見をいただきたい。

(委員)相談系は、ネットワーク会議を毎月開催しているので日頃の課題について話している。今回改めて何について話すのか。前は拠点の取り組みの報告後なので話ができしたが、相談系だけ集って意味ある話し合いができるのか疑問。

(部会長)各Gに入る方が良いのではないかな。

(課長)相談系の人には、いろいろな事業に絡んでもらっているので、他のグループに入ってもらってはどうか。そうすると全体を5Gにでき、ファシリテーターの人数とも合う。

(部会長)グループワークにおいて人材チーム・就労チームの候補者選出となっている。案では、人材チームに対しては居宅介護事業所、障害サービス事業所の強度行動障害担当、人事研修担当から選出とある。就労チームに対しては就労移行支援・就労移行支援からとA型から、B型から選出となっている。これは案なので、このことも検討しても良いと思う。今回の連携会議のグループによっては、例えば児童系とかはメンバー選出はしないこともあるのではないかな。

(委員)チームについて、主旨を理解した上で参加していただけるメンバーをその場で選出できるのか。参加者の状況によっては選出難しいかも。

(委員)事前に運営会議から候補となる見込みの人に声をかけておくのはどうか。

(委員)議論してもらってテーマの具体化を。

(委員)連携会議を継続していくことは必要である。ただ、どのような形なのか、この場の委員でも連携会議のイメージがそれぞれ違うだろう。どのような連携会議が必要なのか。

(部会長)仕組みとして、分野別か、地域別か、とかの連携会議のあり方の検討を。

(委員)介護保険サービス事業者連絡会を参考にしてもよいのではないかな。連携会議のあり方の検討をできると良い。

(委員)当日、事務局から案はあるのか。それを参加者で検討頂くのも良いのではないかな。

(事務局)今後の連携会議の持ち方をあらかじめ決めていくわけでもない。部会や今回の連携会議の参加者の意見から決められるといいと考えている。ご意見もあるようにイメージとしては介護保険サービス事業者連絡会を参考にしてもどうかと考えている。

(部会長)第2回目の案が出ているが、取り組んでいきたい事というテーマを提供すると良い。いきなり自分たちで白紙状態からの検討は難しいが、研修テーマや学びたい事を聞くとなど

- が良い。基幹型の研修を考えたいとかにしたら検討しやすいのではないかと。
- 共通の目的意識を持つ事で、連携会議の本来のあり方が見えてくると思われる。
- (委員)昨年度の児童系の状況はどうでしたか。放課後等デイサービス事業所は横の繋がり意識が無い。共有するような困っている事が出てこない可能性がある。
- (委員)他の事業所がしている事を知ることでも意味がある。集まって話をするだけでも良いのでは。
- (委員)議題途切れたら、それぞれの事業所で一番大変な事例は？という話がでてくる。事例検討的になるが。
- (委員)事例検討したり、現場で起きている事を話したりが、広がりやすいのでは。法人内で月1回合同会議しているが、別の事業でも参考になる。
- (部会長)いくつかの課題があって、そのグループに応じてやりやすい課題を出してもらったら良いのではないかと。
- (委員)参加者は、毎回、ある程度固定になるのか。
- (委員)それは事業所の考え方次第ではないかと。
- (委員)対象は市内全体か。同じ生活介護でも、抱える課題が違いうだろう。
- (委員)事業所についての情報交換できると良いのではないかと。それぞれの売りにしている事など、利用者像とか、他の事業所の工夫を知ると良いかも。
- 参加申込みに、日頃の連携への課題等を書いてもらうと良いのではないかと。
- (部会長)まとめると、一つは事業所の取組み内容、自己紹介的な事業所 PR や、それぞれの課題についての情報交換など。
- 次に、今後勉強していきたい事について、ということで良いかと。
- (委員)前回の報告会の時、また次あった方が良いという流れだったが、前回のアンケート結果からはどうか。
- (委員)前回は、いろいろな意見を喋れて、聞いて良かったという意見だった。
- (部会長)相談員は各グループに入って、各事業所の意見を聞きながらグループのサポートをしてもらうということでどうか。
- (部会長)最後の挨拶については、参加者のやる気を鼓舞するという事で、担当課長からお願いしたい。
- (部会長)実施要領を修正することと、開催通知を部会長名で早々に出さなくてはいけないので、部会長へ一任してもらい、完成次第周知する。部会委員には修正部分を分かるようにしてメール等するという事で対応したい。

4. その他

- 『伊っ勢の』（自立支援部会共催事業）について
- (委員)前回の実行委員会は参加できず。今月の実行委員会から参加予定。当日は1月6日。
- 昨年度からの引き継ぎでもあるように、部会について説明できるチラシ等があると良いと考えている。
- (事務局)公に当部会を知らせるものなので、部会内で検討してもらったが必要があったが、議論し切れなかった。
- (委員)前協議会の時から課題になっていたもので、しっかり運営会議で詰めてください。

○その他

(委員)精神障がいの困難事例があり、保健所でも月 1 回事例検討している。この会議でも活か
せると良いと考えている。

(委員)就労支援の課題について、学校での課題と照らし合わせながら、解決策見つかると思い
と思う。

(事務局)次回は、2月5日(火)9:30 から 場所は市役所東庁舎会議室2-4。